

磐城めざまし新報

毎月二回五日十日
発行 定價一部十錢
編輯人 安川源市
印刷所 磐城
三丁目十番地
磐城めざまし新報社

手具スネひいて待つ

二日の賣り初め

極て慌しく終始する

平町の舊歳末年始気分

いよ／＼あす一日で舊の正だど賣出しに要する
月元日である新の歳末より
も慌しいこの節季師走に直
面して掉尾の一大活躍を企
畫された各商店の歳末賣出
しも早きは昨日限り遅きも
大体今日を以て打切りとな
つて

半宙を

飛ぶ人の足
どりにはこの一兩日ならで
は見られぬ年の瀬の慌しさ
は見ゆるもの、一面をさる
に近々年のさびしさが時節
柄一とほは深刻に看取さる
ものがありねじり鉢巻き
と鈴の音に強て景氣をつけ
た既往一週間の賣出しも景
品がばかに豪勢なものがあ
つた

割合に

は人の出足
をそ／＼と總じて聊か手持
不沙汰を感じたもの、如く
である、而も各町内の比較
をせらるゝが辛さの負けお
しみからその賣上げ高に至
つては尙賣上極秘親展の取
扱ひを受けてゐるが景氣を
はじめとしてやれ看板だ旗

先づこよみの語源は日讀み
の轉であるとして申します
現在我が國で用ひてゐる曆
は、太陽曆ですが外に天體
のことを測る天文曆、航海
者に用ひられる所の月と日
の位置や潮に關係したことを
書いてある航海曆、祭日
七値日月の出入、潮満干
などを知る雜曆などもあり
ます

經費が

約一割五分
に於ては平常二割の儲け
あるものが五分の利益より
ないといふ勘定で決しては
た下見る様にうまい具合に
は行つてゐないらしいが來
る舊二日、十一日の賣初め
は町内聯合の歳末賣出しと
は異つて景氣も

畫一的

なものでな
く各自出来るだけの奮發を
して日頃の客は一人残さず
吸収しようとする意氣込み
例によつて凄じいものがあ
るからこの方の賣上げはそ
の事實において歳末賣出し
を凌ぐ事萬々の筈と觀られ
てゐる

曆の話

大陰曆から
太陽曆になる迄

此の太陽曆になる迄には、
マホメット曆、印度曆、バ
ビロン曆、ユダヤ曆、ギリ
シヤ曆、支那曆などから成
つた太陽曆を用ゐてゐまし
た、太陽曆は日でなく月の
運行に基いて作られたもの
でこれは複雑ですが、我國
でも明治五年までそれを使
つてゐました、太陽曆の古
いものはローマのジュリヤ
ス、シーザが制定したもの
で、それをジュリヤス曆と
いつてゐました

内科

小兒科 (院長毎日診療)
院長 醫學博士 難波 睦
副院長 醫學士 五十嵐 雄二
内科 部長 中西 林 藏

外科

內臟外科
整形外科
外科部長 醫學士 氏家 憲
外科部長 醫學士 鈴木 退輔

産婦人科

産婦人科部長 五十嵐 雄二
醫學士 川添 正道
醫學博士 賀澤 忠治

光線新設

難波 睦
院長 醫學博士 難波 睦
副院長 醫學士 賀澤 忠治

共濟病院

院長 醫學士 賀澤 忠治
副院長 醫學士 賀澤 忠治

高久病院

院長 高久 清忠
副院長 赤羽 菊雄
藥局長 佐竹 菊雄

西村屋藥舗

平町二丁目
電話長三番

赤心堂病院

院長 新妻 由五郎
平町 田町
電話四七五番

大原自轉車店

タヒラ號自轉車製作販賣元
日東號各
種附屬品
並修繕
平町三丁目
磐城平町三丁目

國井自轉車店

福島縣平新川町八
特約店
主 國井 勝 榮

山野邊藥局

買いよき店
山野邊 東次郎
平町五丁目

イウキ食堂

美味
評判
平町細屋町(縣社通り)
電話四六〇番

吉村製綿店

平町研町
吉村 安次郎

瓶詰小賣部

ユラノスケ
平町三丁目(舊郡役所通)
電話二〇七番

鈴木はき物店

平町三丁目
電話二十九番

高級食堂 ヒロキ

平町三丁目
電話長三番

恒例に依り景品付大賣出し

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

磐城セメント特約販賣店

和洋銅鐵金物問屋

久釜屋商店

諸橋久太郎

電話九番 一三九番

振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

平町二丁目

大平屋藥店

菌部國安

卸小賣化粧品

大黒屋勝次商店

本店 平町三丁目 日本通
支店 平三丁目 電話二一六番

景品付初大賣出し

ウ 宇佐美材木店

平町南町

特賣

たひら正宗

福島清酒品評會
一等賞受領

花春

同優等賞受領

醤油醸造元

山崎合名會社

電話一〇番

銘酒大柏
卸小賣 柏木支店

渡邊富三

平町長橋町
電話一四三番

平町五丁目

キリンビール
樂器正宗
味附醬油
罐詰飲料水

大竹芳之助商店

電話二三三二番

履物問屋

三井履物店

三井常松
平二丁目 電話百五十六番

平町新川町

荒物 卸陶器商
松崎商店

電話一七二番

移轉披露景品付初賣出し

平町二丁目

山家メリヤス店

電話六〇五番

平町二丁目

和洋銅鐵
金物商 坂田金物店

電話一二八番

平町四丁目

マルトモ柴田書店

電話二三三四番

平町二丁目

大一屋荒物店

電話一三三番

吉例に依り

舊正月二日初賣出し

景品進呈

磐城平町二丁目

遠藤市松

折詰箱仕出し
電話三五五番

平町四丁目

株式會社 百澤商店

電話一二二番

平町三丁目

佐川洋服營業部

電話四一八番

平町南町

佐川洋服本店

電話七二八番

平町二丁目

遠藤帽子店

電話八三四番

平二丁目 百七隣

移轉披露 福多屋ふとん店

正月羽子板大賣出し

平町四丁目

萬屋

内外果實問屋
電話三七二番

平町五丁目

小野吳服店

小野榮一

店よき買 5丁目

市價壹圓
ノモノタツタ
金五十錢
金六十錢

リタヤ